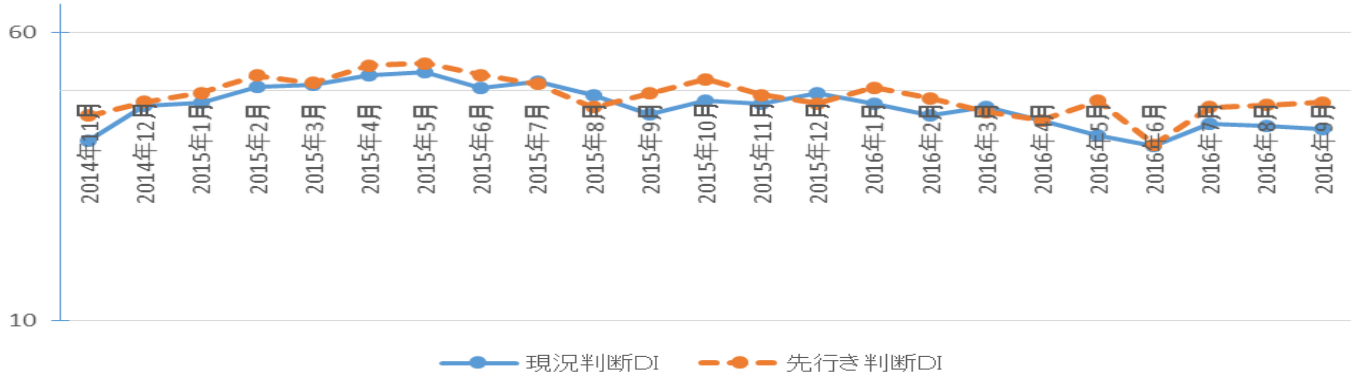


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2016年9月 景気判断 コメント抜粋

	分野	判断	判断の理由
現状	家計動向関連	やや良	ここ数か月は客に購買意欲があり、場所や製品によっては販売量の増加が売上増加にもつながっている。【商店街（代表者）】
		不変	9月は物が動く時期だが、客の様子は変わらない。一部の景気の良い客はたくさん購入するが、大半の客は、付き合いを縮小しており、客層の二極化が進んでいる。【一般小売店〔贈答品〕（経営者）】
		やや悪	売上確保のため、主力商品の一部で価格を引き下げているが、売上は、何とか前年並みに届く程度で、来客数が前年を下回る週もある。買物の内訳をみると、嗜好品の菓子や酒等が節約されている。【スーパー（店長）】
	企業動向関連	やや良	東京オリンピック開催等の影響もあり、住宅や重機等を扱う企業は、以前よりも若干上向きであるという話をよく聞く。【金融業（従業員）】
		不変	放送・通信機器、ケーブルテレビやシステム構築等、案件の受注は好調だが、相変わらず販売価格は抑えられ、適正な利益が得られない。【電機機械器具製造業（総務担当）】
		やや悪	客先の娯楽業や飲食業では、集客力が落ちて閉店となるケースが増えている。客単価の低迷が続いており、経営が困難との話も多く耳にする。【食料品製造業（営業担当）】
	雇用関連	やや良	下期に向けて企業の採用意欲が高まってきている。転職希望者も少しずつ増えている。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	全体としての求人数はほぼ横ばいであるが、募集先をみると人手不足業界からの求人は増え、逆に製造業の求人は減っており、二極化する状況が続いている。【職業安定所（所長）】
		やや悪	正社員採用での求人は増加しているが、条件にマッチする人材が不足している。【人材派遣会社（社員）】
先行き	家計動向関連	やや良	オペレーションでの手直しを進めており、品ぞろえは変化してきている。好調な商品群に加えて、キャンペーン品や新商品が充実しているので期待できる。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	冬のボーナス商戦に加えて、年末に向けて各社から新型車種が投入されるため、世間に話題が広がって新車に興味を持ってもらえればと期待している。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	消費を刺激する要因が少ない。政府の経済対策等も新味に欠け、特に地方経済を上向かせる内容ではない。中国経済の減速や米国大統領選挙等の不確定要素も多い。【百貨店（販売担当）】
	企業動向関連	やや良	客先の業界は苦しい状況であるが、優良店では、年末にかけて設備投資が期待できる。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	住宅の売行きは低金利に支えられている。消費者のマインドは依然として不安を抱えたままで、ほんの少しの要因で大きく景気が左右される状況に、変わりはない。【建設業（経営者）】
		やや悪	衣料品店やスーパー等は、チラシの効果を測るため、新聞折込枚数を以前より少なくする等、試行錯誤をしている。この流れが、今後別の業界にも波及しそうである。【新聞販売店〔広告〕（店主）】
	雇用関連	やや良	求人数の増加と求職者数の減少は変わらない。正社員としての募集も増えている。【職業安定所（職員）】
		不変	賃金引上げや冬期一時金への期待等、先行きの改善材料は特に見当たらない。景気が良くなるという声はほとんど聞かないが、反対に悪化を危ぶむ声も聞かない。【職業安定所（所長）】
		やや悪	人材採用が企業の思うようには進まないため、生産性の低下が心配される。【人材派遣会社（社員）】